



発行所 江南村役場

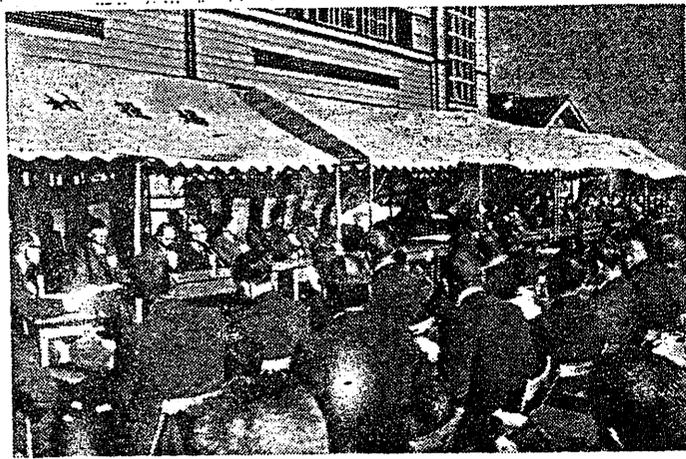
たばこは 村内で 買います よう

新春へき頭

統合中学校の竣工式

郡下合併町村のトップ

江南村の前身 旧御正村旧小原村は昔より合併江南村が生れるのにふさわしい地理的条件その他を具えて居りました。茲になごやかなしなかもかぎりな村の発展を表しようとするか様のなかにも立派な統合中学の設立を見ましてこの建設の経過報告が出来ますことを光栄と存じ、喜んで御報告申し上げます。



竣工式

式辞

瑞氣溢ふるる新春をお迎えして、本日ここに来賓各位の御臨場を仰ぎ、関係者各位をはじめ村民多数の御列席を御ましまして、統合江南中学校新築落成の式典を挙げるにあたり、式辞を申し述べることば村長としてこの上もないよろこびであります。

昭和三十年一月、江南村誕生の時から御正、小原の両中学校を統合して、理想的な学校を設立しようということは、村をあげての宿願でありました。ご承知のように、この統合中学校教育は義務教育であります。旧小原村にいたしまし、旧御正村にいたしまし、

しても、学制改革以来鋭意これが充実につとめて参りまして、それぞれに施設設備も整え、教師、父兄生徒の三位一体の努力によつて、その教育効果も高い水準を保つてきたのであります。しかし、中学校教育の内容は極めて広い分野にわたつておりまして、例えばそれぞれ別の教科を担当する専門的な教員組織の確立、産業教育の施設、設備の充実等々、小規模学校に於ては充分にその目的を達成できない問題が数多くあるのであります。このような問題を解決するため、国も小規模中学を統合して、適正な規模の学校を設立する方針をとつておられますが、しかしすでに、それぞれ一応整つた施設・設備をもつて、現に支障なくその機能を発揮している二つの学校を統合して、全く新しい構想のもとに教育の場をつくるという事は、現実的に極めて容易ならぬことであります。村政担当者として、限られた財政の中でこの大業を完成させるためには、最善の努力をたくして来たつもりであり、各各位の協力を仰がなければなりません。この点を深くご理解いただき、昭和三十四年十一月

より工事に着手、ついで本日の喜びを迎えることができたのであります。いわばこの教育の殿堂は、全村民の教育に対する熱情の結晶にはかありませぬ。統合中学校の表現は、郡下本校がその先がりをなしたもので、村政として深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。山水秀麗傑つて偉人を生ず、という言葉が、本村の北に赤城、日光の山々をのぞみ、西に武父の山々を仰ぐ文字通りすくなく自然環境であります。しかも近代建築技術の粋をつくりだした堂々たる校舎であります。この教育環境にあるだけで、すでにすぐれた教育効果を期待できるのであります。が、更に今後、ご参列の各位をはじめ、

村民一体となつて教育内容の充実と、教育実践の精進をはかり、名実ともにモデル中学としての実をあげてまいりたいと存じます。この新しい校舎で勉強のできる生徒諸君は、言別けてうれしく胸ふくらむ思いでありましょう。環境は人を作るといふ例に漏れず、大いに頑張つて延び行くことを念願いたします。最後に重ねて原御当局を始め、関係者各位の熱情と、村民各位の献身的なご協力に對し、心から感謝の意を捧げるとともに、犠牲的な配慮のもとにこの工事を完成して下さつた各種の業者に対し、深甚の謝意を表して式辞といたします。昭和三十六年一月五日 江南村長 馬場栄一

経過報告

- 本年ここに、知事殿をはじめ来賓の皆様御臨席のもとに、江南中学校校舎新築竣工の式典を挙げるに当り、建築経過の概要を報告させていただきます。衷心よりよろこびに堪えない次第であります。
- 本校建築の機は、江南村誕生とともに、議會その他関係団体により話しあひが持たれ、村民等しく統合中学校建設の現実に、多大の関心を寄せておられましたので、昭和三十一年施設拡充委員会を結成し、中学校建設資金積立を開始するとともに敷地の決定に意をそそぎ、昭和三十三年十二月、幸に地主栗原佐吉氏、福田ふみ江氏の協力により、譲渡契約が成立、敷地を決定するにいたり、昭和三十四年七月より、東松山市伊田組の手により同年九月敷地の整備完了いたしました。この間先進校視察三回を実施し、計画の参考としたことは勿論ですが、特に県教育局の校舎配置、その他について絶大な御指導をいただいたことは、申すまでもありません。かくして施設拡充委員会を建築委員会に組織替えし、昭和三十四年より向う三ヶ年間に工事を完了することを目的とし計画を樹立、着工するはこびとなりました。
- 然るに建築委員各位の熱意により、工事は飛躍的に進行、三ヶ年の工事予定が一年短縮され、この立派な校舎設備が完了いたしましたことは、誠に躍進途上の江南村に相応しいことと存じます。
- 次に、工事に對する概要を申し上げます。
- 一、校地 大字押切字大原 六三六〇坪
  - 二、第一校舎 二階建 三〇六坪 請負者 中野組 請負金 一、二三〇万円
  - 三、特別教室及び便丁室 平屋 一三六坪 請負者 江南職工組合 請負金 三六三万円
  - 四、第二校舎 二階建 三〇六坪 請負者 中野組 請負金 一、二三〇万円
  - 五、管理棟 平屋 八二坪 請負者 江南職工組合 請負金 三三〇万円
  - 六、技術科教室 平屋 五四坪 請負者 埼玉建設K 請負金 一五〇万円
- その他電灯、電力、放送施設及び設計監督事務費を含み、総工費三千八百十万余円の巨額に上り、又工事従事者は延六二二三人の多数を要しました。
- 之を要するに原御当局をはじめ、来賓皆様御援助と、村民の御協力の賜と存じまして改めて深甚なる謝意を表し、経過報告といたします。
- 昭和三十六年一月五日  
 中学校建築委員会副委員長  
 江南村議會 議長  
 松本芳治

